



平成 26 年 2 月 17 日

1. 出張国名 ガーナ・ブルキナファソ
2. 出張月 平成 26 年 1～2 月
3. 出張目的 ワークショップ開催・参加、土壌物理性補足試験、次年度の活動計画の策定

4. 成果の概要

ブルキナファソで、保全農業課題に関するワークショップを開催し、総勢 25 人が参加した。保全農業に関するプレゼンとその後の活発な討議は、関係者に本プロジェクトを認知してもらうことができ、また、各担当研究者の自覚の向上に役立ち、さらなる積極的活動につながると考えられる。生育初期時の乾燥が部分耕起ソルガム栽培に及ぼす影響に関する試験結果から、部分耕起が乾燥時に特別弱い、という事がないことを明らかにした。次年度の予算について、早急に準備することで合意するとともに、次年度から共同研究契約により研究を実施していくことを確認した。